

第17回 わくわくコンサート ～みんなで楽しむ音楽鑑賞会～

第17回 わくわくコンサート実行委員長
萩田 朱理

◆わくわくコンサートとは

わくわくコンサートは、小さなお子様や特別な支援を必要とする方など、普段コンサートに参加することが難しい方も含めて、誰もが気軽にホールで音楽に触れて楽しんでいただける機会を創出することを目的としたコンサート活動です。香川大学の学生が運営の中心として活動し、卒業生、演奏者、企業、先生方や大学職員、団体等のご協力を得て、毎回無料でのコンサートを実現してきました。平成19年度にスタートしたコンサートは、ご来場くださる多くのお客様からご好評をいただき、今年度で17回目を迎えることができました。第1回からご支援いただいている松楠会の皆様には心より感謝申し上げます。



◆第17回 わくわくコンサート

今回のわくわくコンサートは、‘Beyond’（超える）とドイツ（Bundesrepublik Deutschland）をテーマに開催しました。

テーマ‘Beyond’のもとに、作曲家たちが古い枠組みや概念を超え、新たな芸術の可能性を探求した作品を取り上げると同時に、困難を乗り越える勇気を示すことにし

たいと考えました。

そして、もう一つのテーマ「ドイツ」では、頭文字‘B’を取り上げ、バッハ（Bach）、ベートーヴェン（Beethoven）、ブラームス（Brahms）といった作曲家、ベルリン（Berlin）、ボン（Bonn）、ブレーメン（Bremen）等の街に注目するとともに、弓（Bogen）で演奏する弦楽器であるビオラ（Bratsche）とコントラバス（Bass）、バイオリンの協奏曲をプログラムとしました。プログラムは以下のように構成しました。

【コンサート I】

1. J. ブラームス：子もり歌
2. L. v. ベートーヴェン：
ピアノ・ソナタ 第21番
エリーゼのために
3. J. S. バッハ：
ブランデンブルク協奏曲第4番より
4. C. D. v. デイッターズドルフ：
シンフォニア・コンチェルタンテより
5. 広瀬勇人：ブレーメンの音楽隊
(アンコール)ベルリンの風

【コンサート II】

ブラームス：バイオリン協奏曲

今回の開催での主な取り組みを3つ紹介します。1つ目は、ホールの変更です。昨年度はレグザムホール大ホールでの開催でしたが、今年度は小ホールで開催することになりました。毎年のホール変更に伴い、お客様の安全を最優先に、お客様の導線をはじめとして、スタッフの配置やイベントの開

催場所など、事前にホールの下見や打ち合わせを通して考えられる限りの検討を重ねて、慎重に準備を行いました。



2つ目は、プログラムの工夫です。今回は初めての試みで、コンサートを2部制にしました。コンサートIは小さいお子様も楽しめるプログラムにし、コンサートIIはバイオリン協奏曲の1曲での構成にしました。コンサートIIは5歳以上を対象としているため、ロビー保育を行い、お客様全員に楽しんでいただけるように工夫しました。



3つ目はロビーイベントの再開です。事前予約制で、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスの楽器体験、満濃中学校美術部の生徒たちが自身の選択で描いたドイツの絵画展示、ブラームス時代に急速な発展を遂げた鉄道網にちなんで電車展示を行いました。コンサートだけでなく、実行委員やボランティアのそれぞれの得意分野を活かして、小さいお子様も楽しめるような工夫



をしました。当日は、非常に多くのお客様にイベントを楽しんでいただくことができました。

コロナウイルス感染症が流行し始めてから4回目の開催となりました。感染症対策を施しながらも、お客様とのかかわりも大切にしてコンサートを開催しました。昨年度の改善点を活かすことができたのではないかと思います。とはいえ、まだまだ改善点も多いコンサートですが、参加したボランティア学生の100%が、終了後アンケートでは「この行事に意義を感じた」と回答してくれました。昨年度からの変更点も多く、思い通りに計画・実行するのが難しい点もありましたが、私たちにとってかけがえのない貴重な経験となりました。

最後になりましたが、たくさんのご協力、ご支援を頂戴いたしました松楠会の皆様に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。